

# ASR劣化で 技術セミナー

福井県診断士会

福井県コンクリート診断士会（石川裕夏会長）は2月18日、福井市の福井県職員会館で技術セミナー「ASR劣化構造物の劣化事例とその対策」を行った。久保善司金沢大学大学院准教授が講師を務め、会員以外も含め約100人が参加。石川会長は「役所関係の方も大勢参加いただき、コンクリート構造物の維持管理に対しての関心の高さを実感した」と語る。

久保准教授はアルカリ骨材反応（ASR）問題の経緯や対策の現状、劣化が生じた場合の補修・補強の現状と問題点などを紹介。ASRの場合は残存膨張量の問題があるが、残存膨張量が大きい

発注者など約100人が参加



場合と小さい場合について、それぞれ補修事例を説明した。近年注目されているシラン系補修材の特性にも言及した。